

平成 23 年度地域主導型再生可能エネルギー事業化検討委託業務  
(北海道石狩市・ニセコ町) 報告書要旨

特定非営利活動法人 北海道グリーンファンド

## 1. 業務概要

再生可能エネルギーの導入拡大にあっては、地域の住民が参画できる事業形態によって、地域や地点の特性に合わせて取り組む必要がある。膨大なポテンシャルを有し、再生可能エネルギーの宝庫である北海道にとって、各地域におけるエネルギー事業の実施主体の形成と、その面的拡大が喫緊の課題である。本業務では、北海道石狩市、ニセコ町、特定非営利活動法人ひとまちつなぎ石狩、特定非営利活動法人北海道グリーンファンドが参画して、「北海道再生可能エネルギー事業化検討協議会」を設立し、再生可能エネルギー事業化の検討を行った。北海道石狩市とニセコ町において主体の形成と確立を成し遂げ、再生可能エネルギーの事業化を実施することを通じて、人事を育成し事業ノウハウを獲得して、北海道各地における再生可能エネルギーの面的拡大につなげることが究極の目標である。

## 2. 協議会の設立・運営

協議会を3回開催した。石狩市とニセコ町それぞれの事業の検討状況や、専門委員を招集して事業にかかわる専門知識等を共有した。

## 3. 実施計画の策定

石狩市では厚田地区での風力発電事業、ニセコ町では中小水力発電を検討することを決定した。1年目の今年度は、事業の机上検討を実施した。既存のデータの収集整理、事業リスクの洗い出し、事業フローの作成を行った。また、机上検討において明らかになった課題について次年度以降の取組を計画した。

## 4. 事業スキームおよび資金調達の仕組みの検討

地域が参画できる事業形態を念頭において、事業スキームを検討した。次年度は、石狩市においては、事業会社設立などスキームの実際の構築に入り、ニセコ町においては、事業主体の形成を視野に入れて、ニセコ地域の協議会を設立する。資金の大きな柱となる市民出資について情報収集を行ったり、数パターン of 資金の構成について、社会情勢等を考慮に入れながら考察したりするなどの検討を行った。

## 5. まとめと課題

事業化実現に向けて協議会が有効に機能しており、手応えをつかんでいる。事業実施にあたっての課題については、3年目まで見据えてスケジューリングを行い取り組む。